

訪問教育部



<訪問教育とは>

障がいや病気のため、通学して教育を受けることが困難な児童・生徒に対して、教員がご家庭や医療機関、児童福祉施設等に出向いて行う教育のことをいいます。

諏訪地区6市町村の児童・生徒を対象としています。

原則として週に2～3回、1～2時間を目安に訪問しています。個々の体調等により、回数、時間帯、学習内容をそれぞれに合わせて調整し、行っています。

<大事にし、目指していること>

～子ども一人ひとりが 今日を、今を「安心」「心地よい」と感じられる授業～

(1) 児童・生徒の障がいの特性や実態などを熟慮し、保護者の思いを大切に
して、保護者一校内一医療・福祉支援者との情報交換、連携を図りながら
行います。

「アンケートの活用、エピソード集発行」

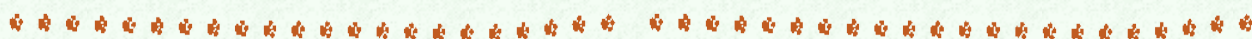
「PT(理学療法士)訓練との合同授業」

(2) 児童・生徒の興味関心に基づいた、自立活動を中心とした授業作り
『手指を中心に、五感に働きかけた外界の広がり』
～探索活動を中心に～

(3) 学校(含:副学籍校)との繋がり、同世代/異年齢集団の友達とのかかわり

直接交流: 所属する部、同年の学級、副学籍校と

遠隔交流: Zoom や Facetime を使った朝の会、合同授業等



こんなことをやっています



訪問教育部

こんなことをやっています



《外界の広がりをお願い～手指を中心にした探索活動～》
～ **実物** に触れ **五感** にゆっくりと 順番に 働きかけながら～



季節を感じられるもの



興味関心、安心できる素材

手指で繰り返し受けとめる 感触あそび… **創作活動**

<令和元年からの取り組み 一例紹介>


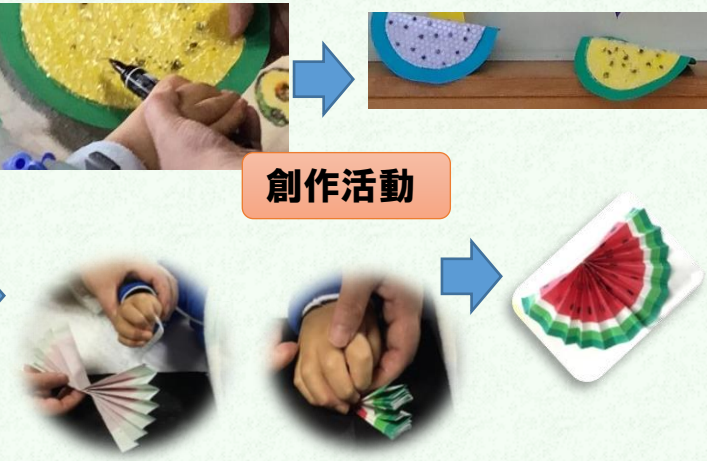
春

春の野花を感じながら…

	実物	創作活動	
五感で確認			お花紙を丸めたり 色画用紙をちぎったり

夏

『すいか』をテーマに…『夏・スペシャル』

	実物	創作活動	
PC とすいかスイッチで「すいか割り」			紙、色画用紙、フチフチ、ペン、両面テープを使って

『七夕かざり』

笹の葉に触れ、匂い確かめ…



お花紙の感触を味わったあと、お父さんと一緒に1枚ずつゆっくり開きました。



できた!

秋

秋には・・・くり、どんぐり、葉っぱ、すすきなどを触って

実物



創作活動




実物

秋のさんぽ：秋の風を感じながら、ふるさとの景色を堪能しました

冬

和紙、お湯、色水での感触遊び、刷毛も使って

2月：学校玄関装飾として

創作活動

見て



触って



感じて




「墨遊び」でタイトル書きに挑戦!



ふるさと「ハヶ岳」の風景制作：「空」と「山」を染め、刷毛で「雲」を描きました

校内：部室前 ⇒ 作品や活動を展示紹介



色つき新聞紙を丸め、ビニール袋に入れたり、布をひっぱったりして『かたつむり』の殻を作りました。

紙皿に四角形のお花紙を指先で乗せました。



交流学習

遠隔授業や朝の会
本校同学年クラスと
Zoom / FaceTime



学級「クリスマス会」に参加

ベッドサイドにて
(iPad・FaceTime)

スクーリング

やっと学校の友達に会えた



練習を重ね、本番は『さんぽ』と『パプリカ』の曲に合わせてみんなで演奏しました

副学籍校交流（訪問型）

音楽やダンス発表



スイミーのオペレッタ 合奏唱



縁側にて

『パプリカ』ダンスと『あわてんぼうのサンタクロース』披露後、みんなと握手しました。

共同制作

手形スタンプ 『希望の虹』づくり



お家では、お母さんと一緒に何度も何度も挑戦し、指先を大きく広げ、渾身の一枚を仕上げました！

：学級では、それぞれが色を選んだ後、両手にしっかりとつけたり、片手で刷毛をもって、自分の手に塗ったりして何度も挑戦しました。



本校同学年クラスと それぞれの時間で

遠足

学校の関係する部や学級との 目的地も候補に参加調整



原村：ハヶ岳自然文化園への遠足を計画したこともありました。スクーリングを兼ね、学校の友達にも会えることも目的の1つです。移動距離や滞在時間、室内での休憩場所等も考慮しながら、健康・体調面、安全面を第一優先にして計画します。

修学旅行

ゆったりのんびりコースで



個に合わせた目的地、日程を組みます。宿泊でも日帰りでもOK。家族みんなで参加する旅行もありました。また、諏訪湖の遊覧船に乗った修学旅行もありました。